



エマルジョン技術で社会に貢献する。

環境対応型

ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン等
健康住宅研究会優先取組物質、厚生労働省指針値策定物質
を一切使用しておりません。

モルタル用接着剤

ナノアール A

断熱材・コンクリート・金属等の下地接着に最適
湿った下地にも接着が可能

毒性・引火性なし
安全力

湿った下地にも
接着力

アスファルトによる高い
防水力

簡単作業で
効率UP

エマルジョン系防水・注入剤・接着剤製造



成瀬化学株式会社



EMS 81566 / ISO 14001:2004
(本社・関工場)

モルタル用接着剤

ナルファルトA

特長

強固に接着すると同時に、防水性を発揮、下地が湿っていても接着します。

施工は、ハケ、コテ、ローラーで簡単にでき、熟練を必要としません。

毒性、引火の危険性がなく、取扱いも容易です。



ナルファルトA

標準施工手順

用途・目的に応じた作業をおすすめください。



使用不適個所

外壁のモルタル接着、金属の外壁側モルタル接着、セットバックのモルタル接着等、危険な個所には気象条件、構造体の変異、振動、地震等種々の原因で剥離の危険性があるため、ナルファルトAの使用を見合せて下さい。

防水

コンクリート下地・モルタル

用途

浴室、台所、便所など、室内並びにベランダ、屋上などの防水を兼ねたモルタル接着。

下地清掃

水洗いをする



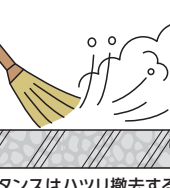
あるいはゴミを除去

接着

コンクリート下地・モルタル

用途

床面、内壁の仕上げモルタル、保護モルタル接着並びに剥離防止。



レイタンスはハツリ撤去する

断熱材下地
(発泡スチロールなど)

用途

断熱材の壁面床面へのモルタル接着。

下地清掃

ホコリ・ゴミを除去

金属下地

用途

キーストンプレート、H型鋼などへのモルタル接着。

下地清掃

ワイヤブラシでサビ・ペンキなどをトル

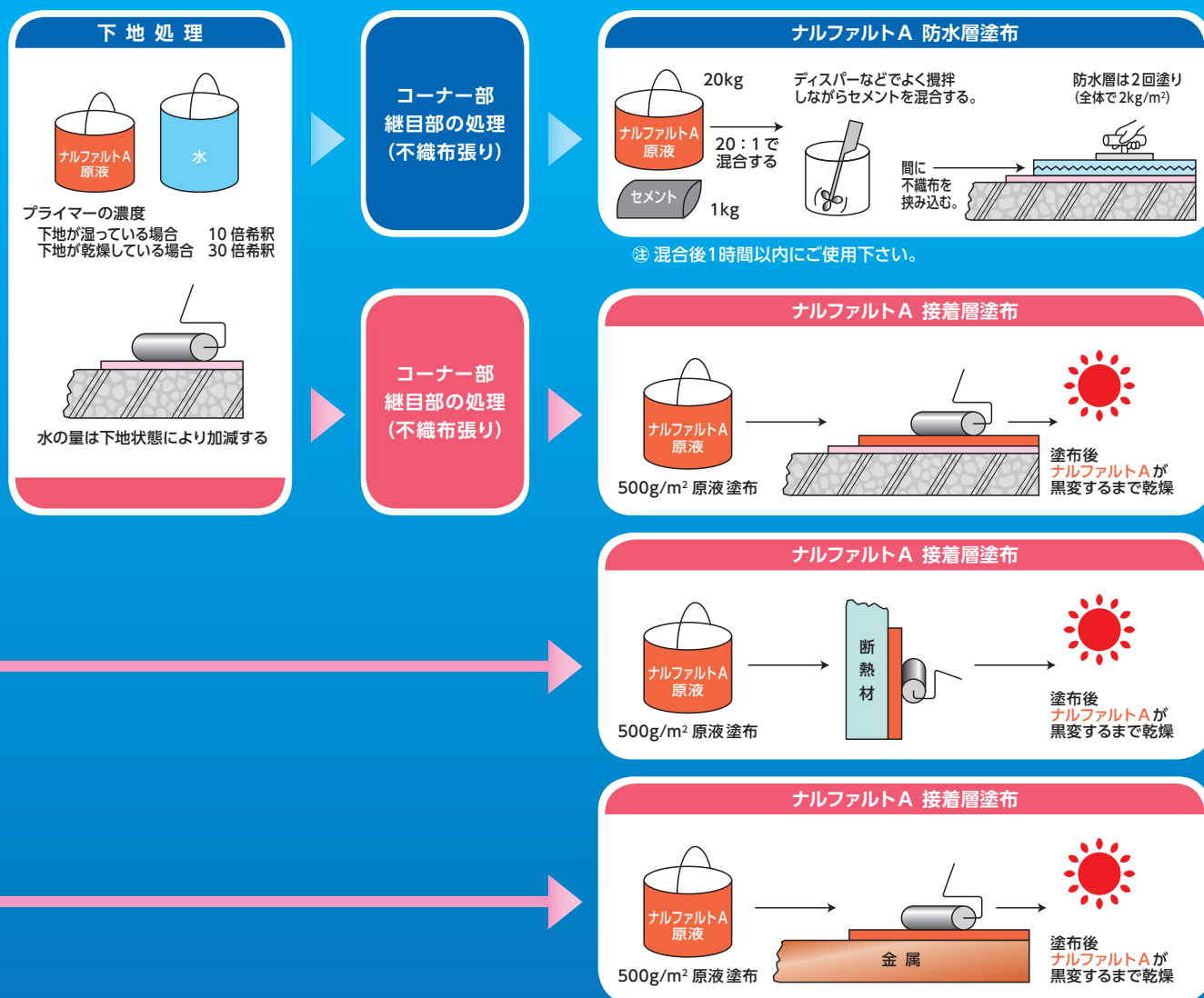
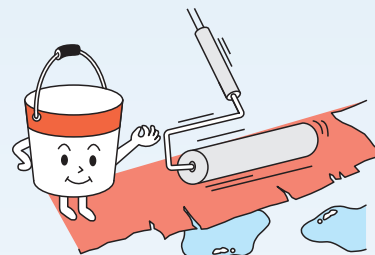
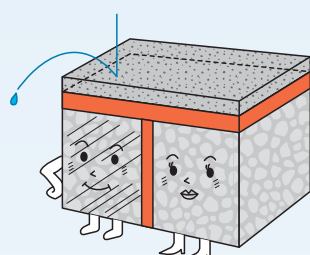


金属

ナルファルトAは施工・取扱いが簡単 優れた接着力と防水性で幅広く真価を発揮します

施工する側に立つてつくられたナルファルトA。数々の特長でご信頼をいただいております。

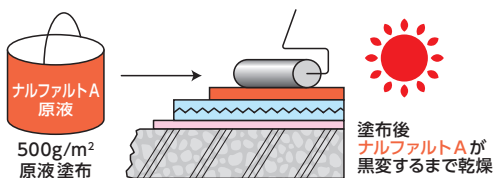
- アスファルトを主成分とする水分散系エマルジョンの一液型接着剤。
- 無溶剤ですから毒性は無く、引火の危険もありません。取扱いも容易です。
- 各種下地とモルタル・コンクリートを強固に接着します。
- 接着と同時に防水層を形成し、防水効果を発揮します。
- 下地が湿っていても、施工が出来ます。
- 作業が簡単で熟練を必要としません。



取扱い上の注意

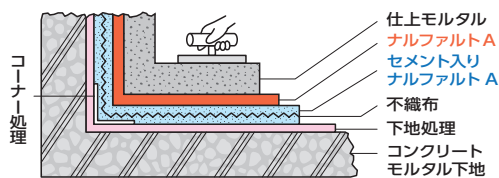
- ① 被塗布面のホコリ・ゴミや油類などの汚れは、よく取り除いて下さい。
- ② 気温5℃以下での施工は、避けて下さい。
- ③ 塗布したナルファルトAが、黒変すればモルタル施工ができます。なお黒変した塗布面が水によって茶褐色に変化する間は、モルタル接着が可能です。(ただし塗布面にはホコリやゴミが付着しやすいので、なるべく早く施工して下さい。)72時間以内。
- ④ 壁面モルタル仕上げ施工の場合、1回のモルタル塗り厚は10mm以内にして下さい。
- ⑤ 施工は、ハケ、コテ、ローラー等で簡単にできます。
- ⑥ 塗膜乾燥後も降雨により流れる恐れがありますから早目にモルタル施工を実施して下さい。
- ⑦ ナルファルトAにセメントを混合して塗布した皮膜は、水に溶けなくなりますが、モルタル接着を目的とする場合には、セメントを混入しないで下さい。
- ⑧ マイルドサンド等、収縮率の高いモルタルを壁面に接着される場合は、必ずメタルラスを併用して下さい。
- ⑨ 保存・貯蔵にあたっては、凍結するような状態、または、40℃以上の高温は避けて下さい。
- ⑩ ペール缶は、密閉して保存し、乾燥しないようにして下さい。
- ⑪ 道具類の汚れは、水で容易に落とせます。乾燥固化してしまった場合は、シンナー類を用いて下さい。
- ⑫ 有効期間1年

ナルファルトA 接着層塗布



72時間以内

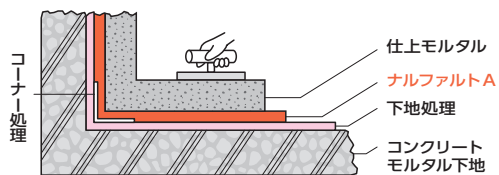
モルタル仕上



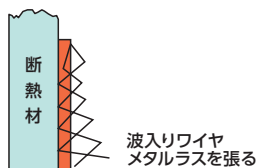
⑬ 壁面のモルタル仕上の場合、メタルラスを併用して下さい。

72時間以内

モルタル仕上

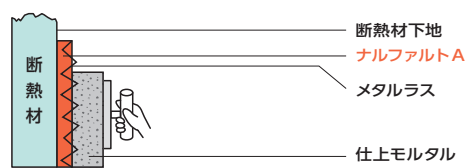


メタルラス張り



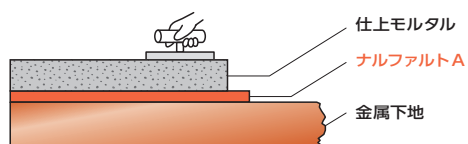
72時間以内

モルタル仕上



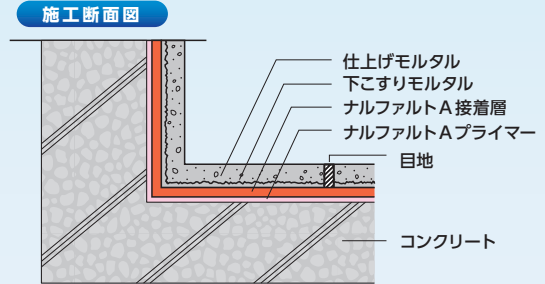
72時間以内

モルタル仕上



改修下地へのモルタル接着工事 (接着剤やアスファルトが部分的に残っている場合)

Pタイルやアスファルト防水が施工されている現場の改修工事において、Pタイルやアスファルト防水を撤去した後、コンクリート面に接着剤やアスファルトが部分的に残ります。このような下地へモルタルを接着する工事に適用します。



施工手順

① 下地の清掃

- コンクリート表面のゴミ、ホコリ、油分などを除去する。水洗いができれば好ましい。(水溜りは拭き取る)

② ナルファルトAプライマーの塗布

- ナルファルトAの水30倍希釈液をブラシ、ローラー、ハケなどでこすりつける。

③ ナルファルトA塗布

- ナルファルトAを原液で約500g/m² (下地の状況に応じて使用量が変わる)、ローラー、ゴムコテなどで、塗り残しのないよう塗布する。

④ モルタル掛け

- ナルファルトAが充分乾燥して手や足に付着しなくなった後、モルタル掛けする。
- 下ごすりモルタルとして約5mm施工し、通常約1週間養生した後、中塗り、上塗りの順にモルタル掛けする。

金属下地へのモルタル接着工事

下地が鉄、アルミ製柱の室内側及び床板、サッシュなどにモルタルを接着する工事に適用します。金属の外壁側モルタルの接着は気象条件、構造体の変異、振動、地震等種々の原因で剥離の危険性があるためこの工法は適用しないで下さい。



施工手順

① 下地の清掃

- コンクリート表面のゴミ、ホコリ、油分などを除去する。

② ナルファルトA塗布

- ナルファルトAを原液で約500g/m² ローラー、ゴムコテなどでこすりこむように塗布する。

③ モルタル掛け

- ナルファルトAが充分乾燥して黒色に変色した後、モルタル掛けする。
- 下ごすりモルタルとして約5mm施工し、通常通り約1週間以上養生した後、中塗り、上塗りの順にモルタル掛けする。

製品性状

外 観	黒褐色水性エマルジョン
固 形 分	50%
P H	7 ± 1
主 成 分	アスファルト・熱可塑性樹脂
粘 度	30,000 ~ 40,000cps
主 用 途	モルタル接着用

性能試験

モルタル接着強度

モルタル履歴：配合＝砂 3：セメント 1 / 養生 28 日後、20℃

接着剤履歴：硬化日数 28 日 / 塗布量 400g/m²

試 験 条 件：建研式引張試験機による

接 着 体	剥 離 強 度
コンクリート	1.05 N/mm ²
モルタル	0.75 N/mm ²
A L C	※ 0.90 N/mm ²
鉄	0.90 N/mm ²
アルミ	0.70 N/mm ²
ベニア	0.75 N/mm ²
発泡スチロール	※ 0.45 N/mm ²
硝酸カルシウム	※ 0.85 N/mm ²
P タイル	0.40 N/mm ²

※接着体の破壊

成瀬化学株式会社

営業部	■ 東京本店	〒140-0013	東京都品川区南大井6-17-7	TEL.03(3763)4113代
	■ 名古屋営業所	〒451-0052	愛知県名古屋市西区栄生1-35-20	TEL.052(586)3811代
	■ 大阪営業所	〒573-0126	大阪府枚方市津田西町1-15-9	TEL.072(858)5902代
	■ 沖縄出張所	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地2-3-11	TEL.050(1386)7947代
工場		〒519-1107	三重県亀山市関町木崎1703-3	TEL.0595(96)1411代

■ <http://naruphalt.com> E-mail : naruse@net.email.ne.jp